

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
 E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
 URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 和田英人  
 副 会 長 : 三原慎也  
 幹 事 : 畑中伸夫  
 公共イメージ : 森下 光  
 会報担当者 : 可児一彦・村井裕孝

2021 年度国際ロータリー会長：シェカール・メータ (Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ・インド)

2021 年度国際ロータリーテーマ：Serve to Change Lives(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

<本日のプログラム>

第 2744 回 令和 3 年 12 月 2 日 第 1 木曜日  
 年次総会

<次回の予定>

第 2745 回 令和 3 年 12 月 9 日 第 2 木曜日  
 職場例会 大和町：焼肉のだいこく家

<前回の記録>

第 2742 回 令和 3 年 11 月 18 日 木曜日  
 会員卓話 國田大雄会員  
 山下友幸会員

司 会 進 行 廣瀬泰輔 SAA

点 鐘 和田英人会長

ソ ン グ 我等の生業

出 席 報 告 山下友幸出席担当責任

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
39 名(免除 2 名)	28 名	6 名	34 名	92.3%

ニ コ B O X 前田伊三夫クラブ奉仕委員

- ・山下君、國田君 本日の卓話宜しく申し上げます。  
 和田英人
- ・本日は卓話です。宜しく申し上げます。  
 國田大雄・山下友幸
- ・婦人誕生日のお祝をありがとう。 前田伊三夫
- ・山下君、國田君 卓話宜しく申し上げます。  
 林 健吉・平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜  
 岩尾 誠・可児一彦・川井昭司・前田伊三夫  
 松森 薫・水上成樹・村井裕孝・村土時男  
 長尾信幸・永瀬和郎・西川 昇・野田三津雄  
 酒井智義・坂本 仁・霜野賢一・竹内巧治  
 田中義久

幹 事 報 告 野田三津雄副幹事

- ・地区事務所より女性会議参加のお礼
- ・志摩 RC より「志摩の匠・きら星」チラシ配布の  
 お願い

<拝受>

- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」260 号
- ・郡上長良川、美濃 各 RC より週報
- ・岐阜県環境生活部より「人権だより」87 号

委 員 会 報 告

村土時男情報担当責任者  
 ・本日の IDM のお知らせ

会 長 の 時 間 和田英人会長



皆さん、こんにちは。先週は新会員の歓迎会、親睦委員会の皆さん、ありがとうございました。たくさんの方々に出席頂き、ありがとうございました。お礼を申し上げます。

先週、会員増強委員長と岐阜の都ホテルで行われた、第 1 回目となる女性会議へ出席してきました。女性会員がいないクラブは、代理で増強委員長と会長が出席するようという事で出席しましたが、全体の約 3 割くらいが男性の会員でした。先にアンケートを書いて出させて頂きましたが、郡上八幡の場合、国際ソロプチミストがあるのと同地区にクラブがあつたりして推薦が難しく、なかなか挙がってこないという回答でアンケートを提出させて頂きました。その会議の時に、そのアンケートが題目に挙がりました。講師が女性のバスターガバナーだったのですが、その方が真っ先に

私は昔ソロプチでしたと言われました。それと、自クラブでは女性会員は一人ですとも言われました。私が書いたアンケートが全て却下されたような感じでした。なかなか難しいと思いますが、女性会員が一人でもやっているとということなので、できれば推薦して頂けるといいかなと思います。他のクラブを見ると、女性会員がいるクラブは平均3~4名みえるそうです。最初に入会があってから増やしていったということで、まず一人と言われましたのでご協力をお願いします。

それから、本日午前中にロータリー文庫の贈呈式に行ってきました。今年で寄贈した本の数が1,200冊を超えていました。図書館の館長とお話をさせて頂きましたが、毎年図書館の方が必要な本を選ばせて頂いていて、大変有り難いということです。来年もできたら宜しくお願いしますということでした。

それと、本日このクラブから4名の方がガバナ一杯チャリティーゴルフ大会に出場してみえます。私もゴルフが趣味の一つなので、少しお話をさせて頂きます。私がゴルフを始めた頃は男子ゴルフが主流で、ほとんど毎週のように男子ツアーのテレビ放送があったのを覚えています。ですが、最近では男子のツアーが少なくなって女子のツアーが増えてきています。小柄な女子選手が優勝することもあり、以前とはずいぶん変わってきたなと思います。ゴルフは無理をしなければ年を取ってからもできるスポーツだと思っているので、私も生きていれば80歳を超えてもゴルフをやりたいなと思っています。ありがとうございました。

## 会 員 卓 話 國田大雄会員



本日の卓話ですが、毎回悩むところですが、10月の大川君の卓話を見ていて自分でもああいう風にやってみたいなどと思い、頑張って資料を作ってみました。今回の卓話も美術関係の話で、芸術をテーマにお話させて頂きます。

タイトルは「知って観るとチョット違う」です。以前から卓話で作品や美術館の紹介をしてきましたが、最近ではコロナによってそういった所に足を運ぶこともできず、イベントなどにも行きづらいう状態が続いて、何かご紹介するものがないかなと考えました。そうしたところ、YouTubeで気になる動画があったのでご紹介します。

「山田五郎オトナの教養講座」です。たぶん見れば誰か分かると思いますが、コメントーターなどで出ています。山田五郎さんのプロフィールです。

オーストリアへ留学、西洋美術史を専攻。大学卒業後は講談社へ入社し、『ホットドッグ・プレス』などの雑誌編集を担当。テレビ出演きっかけにより、2004年6月に講談社を退社し、独立。現在はフリーの編集者、評論家、タレント、コラムニストとして活動している。2021年よりYouTubeにて『山田五郎オトナの教養講座』放送開始。現在はYouTuberとし

ても活動中。

実際にはテレビではチラチラ見ていましたが、何をしているのかも知りませんでした。今説明したように西洋美術史を専攻してみえて、YouTubeの動画では色んな作品を色んな角度で一点ずつ、分かり易く説明しています。今回の卓話は、その動画をなぞって話をします。

この作品は「民衆を導く自由の女神」です。1830年の作品で、今はルーブル美術館にあります。描いたのはウジェーヌ・ドラクロワで名前はご存知の方も多と思いますし、今の作品も知ってみえる方は多いと思います。YouTubeではこの作品を「なぜ丸出し? 「民衆を導く自由の女神」」というタイトルで解説をしています。確かに、戦場で女性が真ん中でフランス国旗を持って胸を出した状態の絵になっています。このことについて面白く解説してくれています。まずは作者のドラクロワさんの説明をします。名前はちょっと長いですが、フェルディナン・ヴィクトール・ウジェーヌ・ドラクロワ。1798年4月26日生まれで、1863年8月13日に65歳で亡くなりました。この人は19世紀のフランスのロマン主義を代表する有名なアーティストです。代表作に「キオス島の虐殺」「サルダナパールの死」「アルジェの女たち」、そして「民衆を導く自由の女神」などがあります。初めの3つは自分でもあまり見たことがなくてピンときませんが、民衆を導く自由の女神は多くの方が一度は目にしているんじゃないかと思います。何故この絵が有名かということ、世界史の教科書に大体は載っているからだと思います。この絵が表しているのがフランス革命だとか思われがちですが、その後の7月革命を描いた作品となっています。ちなみにフランス革命が1789年のことで、7月革命が1830年の出来事なので、フランス革命後の革命の様子を表した作品になっています。先ほどドラクロワさんについて、19世紀を代表するロマン主義のアーティストと説明しましたが、ロマン主義とは何かというと、ロマン主義のロマンはロマンス語からとっています。ヨーロッパではラテン語とロマンス語の二つがあって、ラテン語は文語で書面や書類、本などに書かれる文字です。ロマンス語は口語で言葉として用いられます。なので、昔からあるのを古典主義で、最近のものをロマン主義と読み取ってくれば良いと思います。ちなみに、古典主義が古代ギリシャのローマ文化や美術を理想とする思想のことで、ロマン主義が古典主義に対抗して新しい表現を目指す主義のことで、そのため古典主義とロマン主義の対立が発生する構図となっています。

次に、西洋美術史の流れを説明します。ルネサンス→バロック美術→ロココ美術→真古典主義→ロマン主義→写実主義→印象派というのが大体の流れになっています。何が違うのかということですが、古典主義の作品を用意しました。これは、フランスの美術アカデミーのトップにいたドミニク・アングルさんの作品です。タイトルは「ホメロスの礼賛」です。絵の真ん中、椅子に座っている人がホメロスさんで、古代ギリシャの詩人を描いています。先ほどの作品と比べると、雰囲気はかなり違ってきていると思います。ロマン主義の「民衆を導く

自由の女神」は7月革命を描いていますので、その当時の今を描いている作品です。動きがあつてタッチが荒い絵です。古典主義の「ホメロスの礼賛」は、動きが少なくタッチが綺麗で繊細に描かれています。この二つの作品の違いには大きなものがあると思います。先ほどの「民衆を導く自由の女神」がなぜ胸を出しているかについてです。美術史の流れにもあつたように古典主義の後にロマン主義、そして写実主義となっていて、その時をしっかりと描写する描き方が流行ってきます。昔からのことと今を写すということの間がロマン主義ということもあつて、お互いのいい所取りをしているような感じで、ちょっとファンタジー的な要素もあります。この作品にはドラクロワ本人も描かれていると言われています。実際にこの革命に本人が関わったかどうかは不明です。何故真ん中の女性が胸を出しているのか、この人には名前があり、マリアンヌといます。このマリアンヌというのは、フランスの象徴であつたり自由の象徴だったり、そして女性なので自由の女神という言葉方もあります。どうしてこの人が女神なのかということですが、答えは胸を出しているからです。この当時は基本的にはヌードはNGでした。でも実際のところは昔からヌード画というのはあつて、その絵の元になっている人たちは基本的には神様ということになっていて、実在しない人の裸ということ。昔から、聖書の言葉からイメージして描かれた作品が多くて、女神も神様だから服を着ていない、だから裸なのだということ。実在しない人は裸でOKという流れから、裸の絵なら実在しないですね、に変わっていった最終的にこの絵の女性は女神であると認定しています。胸を丸出しにして女神だと分かっているのです。作者もあえて胸を出すことによって自由の女神が群衆を引っ張って行っている絵を描き上げたということ。この後には写実主義というのが出てきて、リアルに女性の裸を描いたりということもありますが、実際この当時まではこういった表現の仕方がされていません。YouTubeではもっと上手く分かりやすく説明していますので、気になる方は一度見て下さい。

ありがとうございました。

## 会員卓話 山下友幸会員



皆さん、こんにちは。今日は仕事の話で、パッケージ屋から見た今の現況についてお話しします。

景気の方は上向いています。業種によりけりで、半導体の不足や鋼材の値上がりなどもあります。時間が解決するかと思います。また、観光、サービスの方はまだまだですが、少しずつ旅行も増えている状況です。自動車部品に関して半導体のことがよく言われますが、自動車の部品だけでなく建機、重機に関する部品などもバンバン出ているような状態なので、今後それが加速していけばなと願っています。色々な業者さんとの付き合いの中で、そのような雰囲気はちらほら見られるので、ここ半年から1年以内には回復するだろうと読んでいます。

今、前から順番に渡したプラスチックのものは、私がこの前、こんなものがあるといいなと思って作りました。

後で披露するので何か考えておいて下さい。それではここでYouTubeを見て下さい。



この機械は今年の8月に導入しました。このような箱の図面でいうと、長さ、幅、高さの3辺を展開図のひな型に入力しただけで、展開した図面が出てきます。テレビで見られた方もあるかもしれませんが、段ボールで作った車・ダンボールギーニ・カウンタックもこのような機械で設計して作っています。お土産のお菓子が入っている白い箱などは、ほとんど同じ規格の大きさだったので、お菓子を製造しているメーカーが包装紙を変えて作っています。先ほどの私が作ったプラスチックのものが何かというと、会社の仕事のなかでアッセンブリーといって箱の中に物を詰める仕事もしているのですが、箱に物を入れる時に、新品の段ボールは上の部分が立っているのので折って中に入れるのですが途中まで戻ってしまいます。そうすると袖が引っ掛かったりするので、これで押さえてやる、それだけのことです。今うちの現場でも使っていますが使いやすいと好評です。これは一番初期のものですが、今使っているものは角で手を切ったりしないように丸くしてあります。この道具以外にもまだ色々なものがありますので、卓話のたびにこのような物が出てくるかもしれません。

今、関市の包丁の貼り箱をかなり作らせて頂いています。包丁バブルが4年ほど前にあつたような感じでしたが、このコロナ禍の巣ごもり需要なのかヨーロッパやアメリカ向けの輸出が大変多いようです。それで今、その波に乗らせて頂いているのですが、この貼り箱の特徴として人の手数が必要で、機械だけでは全てが終わらないということで、この貼り箱のメーカーさんが次々とやめられていっています。そのうち、うちの会社では手に負えないくらいの仕事が出てくるのではないかと思います。本当にこの貼り箱は時間がかかる、手間がかかる、そして値段が高いです。包丁の中には値段が5万、6万、8万、10万の物があるのですが、そういう時に作るパッケージというのは1本に対して、ひと箱千円を超えるものもあります。お客さんと細かいところまで打ち合わせをして一つの箱ができるのですが、とにかく今一番熱いのが関の包丁メーカーさんかもしれません。職人がいなくて、技術面でも機械面でも自社で完結させているところもありますし、包丁の型抜きが上手なところの仕事が集中してしまっている状態にもなっているようです。

新しい機械を手に入れて、またこれから先も頑張っていきます。パッケージにかかわらず、先ほどの機械で色々なものができるので、また皆さんにお見せしたいと思います。ありがとうございました。